

2014

男女共同参画を推進する学習拠点

独立行政法人 国立女性教育会館 概要



National
Women's
Education
Center

利用する・参加する・
調べる・学ぶ・読む



NWECC

National Women's Education Center



男女共同参画社会の実現を目指して



理事長 内海 房子

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、創設以来37年にわたり、女性教育指導者や関係者への研修や交流機会の提供、男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する専門的な調査研究、情報収集・提供の充実を図るなど、教育・学習支援を通じ男女共同参画社会の実現のための推進機関としての役割を果たしてまいりました。

この間、男女共同参画を推進する多くの女性リーダーが育ち、さまざまな地域問題の解決に取り組むとともに、全国の女性たちとのネットワークを構築し、ともに学習プログラムを開発し、関連する貴重な記録やデータを蓄積することで、男女共同参画社会の実現を図っております。

しかしながら、政策・意思決定過程への女性の参画率の低さや、男性の育児・家事への参加の低さなど多くの問題があり、日本の男女共同参画社会実現は未だ道半ばにあると言えます。

我が国において男女共同参画が進まない主な理由として、固定的性別役割分担意識が根強く残っていることがその要因の一つと言われ、社会全体として「意識の変革」への取り組みが重要な課題であります。

こうした状況を踏まえ、NWECは第3期中期目標・中期計画期間(平成23年4月～28年3月)の3年目を迎える平成25年度から事業を見直し、地域で男女共同参画を推進するリーダーや大学・企業・行政機関などの担当者に対するさまざまな教育・学習支援事業の実施を通じて、社会全体の「意識の変革」を進めているところです。今後も、より積極的に社会の要請に応えられる機関となるよう、新たな事業の展開を図ってまいります。

皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

目 次

目 的	2
沿 革	3
事 業	4
利用状況	7
トピックス —平成25年度事業から—	9
施設	11
組織図、歴代館長・理事長、運営委員会委員、外部評価委員会委員、決算	14



目的

独立行政法人国立女性教育会館(NWEC)は、女性教育指導者やその他の女性教育関係者に対する研修、女性教育に関する専門的な調査及び研究等を行うことにより、女性教育の振興を図り、男女共同参画社会の形成に資することを目的としている。

NWECは、その目的を達成するために文部科学大臣より示されている中期目標に基づき、「研修」「調査研究」「情報」「国際連携」「教育・学習支援」の5つを有機的に連携させつつ各事業を実施している。



調査研究

男女共同参画に関する専門的・実践的な調査及び研究の実施

研修

男女共同参画を推進するリーダーの資質向上・ネットワーク化を目指した各種研修の実施

情報

男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する情報及び資料を収集・整理し、提供

男女共同参画社会の形成の促進
女性のエンパワーメント

喫緊の課題に係るプログラムの開発・普及

調査研究とその成果や資料・情報の提供

国際貢献・連携協力の推進

利用者への男女共同参画に関する理解の促進

国内関係機関・団体等との連携協力の推進

教育・学習支援

教育・学習プログラムの開発・提供から、男女共同参画を推進する組織や担当者を対象とした事業実施や組織運営等へのサポート

国際連携

ナショナルセンターとして、海外の機関との連携体制を構築・強化

沿革

- 昭和52年 7月 文部省の附属機関として「国立婦人教育会館」が設置される
- 昭和52年 11月 開館式
- 昭和54年 11月 情報図書室開室(昭和62年11月から「婦人教育情報センター」、平成13年1月から「女性教育情報センター」と改称)
- 昭和57年 6月 皇太子殿下・同妃殿下行啓
- 昭和62年 5月 利用者100万人を超える
- 平成 6年 4月 「国立婦人教育会館将来構想検討委員会」が「国立婦人教育会館の将来について」を報告
- 平成 8年 11月 利用者200万人を超える
- 平成 9年 1月 愛称を「ヌエック」に決定



開館式で挨拶をする
福田赳夫元首相

情報図書室の開室の
テープカット



皇太子殿下・同妃殿下行啓

- 平成13年 1月 名称を「国立女性教育会館」に改称
- 平成13年 4月 「独立行政法人 国立女性教育会館」設立
- 平成18年 4月 女性情報ポータル“Winet”(ウィネット)公開
- 平成18年 6月 利用者300万人を超える
- 平成20年 6月 女性アーカイブセンター開設
- 平成22年 11月 研修棟、宿泊棟等の改修工事
- 平成24年 8月 「国立女性教育会館の在り方に関する検討会」が報告書を公表



女性アーカイブセンター開設

事業

国立女性教育会館は我が国唯一の女性教育に関するナショナルセンターとして、あらゆる分野における男女共同参画推進機関や担当者を支援するため、情報収集と調査研究の2つの基盤的な事業を充実させ、専門情報や研修機会を提供することによって、国内外のネットワークを構築していく。

平成26年度事業

研修事業

地域・大学・企業等の各分野において男女共同参画を推進するリーダーの資質向上を目的とする研修を実施するとともに、交流により各分野のリーダーが連携して課題に取り組むための横断的ネットワークづくりを促進。

- 女性関連施設・地方公共団体・団体リーダーのための男女共同参画推進研修(5月)
- ダイバーシティ推進リーダー会議(6月)
- 女子中高生夏の学校2014～科学・技術・人との出会い～
(8月/科学技術振興機構受託事業)
- 男女共同参画推進フォーラム(8月)
- 企業を成長に導く女性活躍促進セミナー(10月)
- 大学等における男女共同参画推進セミナー(12月)
- 女性情報アーキスト養成研修(基礎コース)+(実技コース)(12月)
- 女性関連施設相談員研修(2月)
- 女子大生キャリア形成セミナー(2月)

調査研究事業

男女共同参画を推進する機関・担当者が活用しやすく、かつその活動の成果に結びつく、実践的な調査研究を実施。

- 大学等における男女共同参画に関する調査研究
- 男女共同参画統計に関する調査研究
- 女性関連施設に関する調査研究
- 若年男女のキャリア形成に関する意識及び支援に関する調査研究
- その他、科学研究費助成事業による研究

情報事業

男女共同参画・女性教育・家庭教育に関する基本的かつ全国的な専門資料・情報を収集し、男女共同参画の推進に必要な取り組みの企画・実施に役立つ情報・資料として、関係機関や担当者に提供。

- 情報資料の収集・整理・提供(大学・企業関係資料の充実)
- 女性情報ポータルとデータベースの整備充実
- 図書のパッケージ貸出
- 「N W E C 実践研究」の発行
- 女性アーカイブ機能の充実と全国の女性アーカイブとのネットワークの強化



教育・学習支援事業

男女共同参画を推進する機関や担当者を対象として、事業の企画・運営等に関する包括的なサポートを実施。

- 教育・学習プログラム実施に関する支援
- 講師の斡旋

国際連携事業

ナショナルセンターとして、男女共同参画を推進する海外の機関や担当者との連携の構築・強化を図るとともに、得られた情報を国内外に発信。

- アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー(9月～10月)
- N W E C 国際シンポジウム(10月予定)
- 課題別研修「アジア諸国における人身取引対策協力セミナー」(10月/国際協力機構受託事業)

女性教育情報センター

<http://www.nwec.jp/jp/center/>

女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する分野の学習・調査・研究に資するため内外の資料・情報を収集・整理し、提供するとともに、各種データベースを作成し、Web 上で公開している。

情報サービス

閲覧

女性教育情報センター内で自由に閲覧できる。

貸出

会館内貸出及び会館外貸出、女性センター・図書館等を通した館外貸出を行っている。

図書パッケージ貸出サービス

大学や高校、女性関連施設、公共図書館を対象にさまざまなテーマにあわせて図書をまとめて貸し出すサービスを行っている。

レファレンスサービス

利用者の学習・調査・研究を援助するために、当センター所蔵の資料や各種データベースを活用してさまざまな質問に答えている。電話や文書、Eメールでも受け付けている。

文献複写サービス

所蔵資料について、文献複写サービスを行っている。電話やインターネット・文書による申込みも受け付けている。



展示の実施

所蔵資料の紹介を目的とする展示を行っている。



情報研修プログラムの提供

利用者の希望に応じて、資料・情報の検索・利用方法等の実技研修を随時行っている。



収集資料(平成25年3月31日現在)

項目	和		洋		計		
	24年度受入	累計	24年度受入	累計	24年度受入	累計	
図書	図書	1,770	76,779	588	22,788	2,358	99,567
	地方行政資料	339	25,817	0	8	339	25,825
	計(冊数)	2,109	102,596	588	22,796	2,697	125,392
逐次刊行物	雑誌	14	3,220	2	733	16	3,953
		中止 5		中止 13	(62カ国)		
	新聞	0	74	0	1	0	75
その他	新聞切り抜き	19,478	342,589	—	—	19,478	342,589
	AV資料※	8種	195種	0	4種	8種	199種
	研修貸出用資料※	1	16	0	0	1	16

※毎年見直しを実施

女性情報ポータル“Winet” (ウィネット)

<http://winet.nwec.jp>

ウィネットは、女性の現状と課題を伝え、女性の地位向上と男女共同参画社会の形成を目指した情報の窓口である。



女性情報
ナビゲーション

インターネット上の有用な資源への案内

女性情報
CASS

会館作成のデータベース及
び他の関係機関のデータ
ベースの横断検索

NWEC作成
データベース

女性情報シソーラス

女性に関する情報を効率よく検索するための用語集で、Winetの各データベースへ組み込まれている。

女性情報レファレンス事例集 (248件)

女性関連施設でよくある情報相談(レファレンス)を、Q&Aの形式でまとめた事例集。

女性のキャリア形成支援サイト

女性がさまざまな新しい分野へチャレンジし、生涯にわたり、主体的に選択しながらキャリアを形成していくため、多様な事例(ロールモデル)、キャリア形成のための学習支援情報を提供。

海外女性情報専門データベース 館内で利用可能な主なデータベース。

●Contemporary Women's Issues

雇用・人権・健康など女性の生活にかかわる諸問題を取り上げた世界190カ国以上の定期刊行物や団体雑誌約2,400誌を収録。

●Gender Watch

女性問題に関する学術雑誌のほか、新聞、ニュースレター、パンフレット、会議録など148,000件以上の全文記事を収録。

国立女性教育会館作成の 主なデータベース (件数は平成25年3月現在)

女性教育情報センター所蔵資料のデータベース 文献情報データベース	図書 (81,891件)	一般出版社が刊行した図書、中央省庁の調査・報告書、企業の調査資料、女性団体・グループ刊行の資料等を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワードから検索できる。
	雑誌 (3,965件)	一般出版社の雑誌、大学・研究所等の紀要類、地方自治体発行の男女共同参画広報誌、女性団体・グループが発行したミニコミ等を検索できる。
	地方行政資料 (21,314件)	地方自治体の男女共同参画担当課/教育委員会等が刊行した資料を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。
	和雑誌記事 (64,726件)	所蔵雑誌から選定した男女共同参画及び、女性・家庭・家族に関する記事を「女性情報シソーラス」に基づいたキーワード等から検索できる。
	新聞記事 インデックス (342,589件)	以下の新聞記事を見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードから検索できる。 [昭和52年10月~昭和63年]全国紙・地方紙約60紙に掲載され、話題となった女性(人材)に関する記事。記事見出し、記事中の人名、新聞名、日付、キーワードを主なデータとして登録している。 [平成元年度以降]全国紙・地方紙約45紙に掲載された男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する記事。
女性関連施設データベース (概要635件/事業27,752件 情報事業372件/相談事業319件)	全国の女性/男女共同参画センター・働く婦人の家・農村婦人の家の概要、学習・研修事業、情報事業、相談事業について、毎年調査した、各施設の現在の活動がわかるデータベース。	
国立大学における 男女共同参画状況データベース (86大学)	国立大学協会「国立大学における男女共同参画推進の実施に関する第7回追跡調査報告書」の教員データ、男女共同参画室等の状況がわかるデータベース。	
女性と男性に関する 統計データベース (551件)	女性及び男性の状況を把握する上で重要な日本の統計を、あらゆる分野にわたってとりあげたデータベース。統計表は、エクセル形式でダウンロードできる。	
男女共同参画人材 情報データベース (778件)	男女共同参画社会推進のための事業企画、また施策の実施に参考となる会館の各種事業に協力された講師、委員等の人材情報データベース。	



利用状況

年度別利用状況（昭和52年度～平成24年度）

年 度	平成24年度			累計(昭和52年～)		
	宿泊利用	日帰り利用	小 計	宿泊利用	日帰り利用	小 計
利用団体数	879	1,961	2,795	36,698	39,983	76,681
実利用者数(人)	28,583	62,683	91,266	1,276,349	1,195,627	2,471,976
延利用者数(人)	59,391	62,683	122,074	2,746,753	1,195,627	3,942,380
1日当たりの利用者数(人)	180	190	369	236	103	338
開館日数(日)			330			11,654



女性教育情報センター利用状況（昭和54年度～平成24年度）

事項	年度	平成24年度	累計(昭和54年～)
資料等利用者総数(人) ※		7,379	56,371
貸出数	図書(冊)	8,077	84,465
	雑誌(冊)	661	31,309
	研修用貸出資料(冊)	387	41,473
レファレンスサービス(件数)		611	36,796
文献複写サービス(件数)		850	16,262
館外貸出サービス(件数)		268	2,817
情報研修プログラム(件数)		5	374
情報研修プログラム(人数)		80	8,627
開室日数(日)		326	10,879

※資料等利用者総数は、平成18年度より集計

■レファレンスサービス 昭和56年度開始

■文献複写サービス 昭和56年度開始

■相互貸借サービス 平成4年度開始

■図書パッケージ貸出サービス、個人貸出サービス 平成22年度開始



利用内訳（平成24年度）

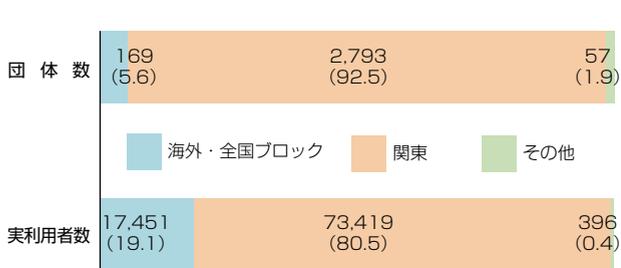
主催者別

上段/実数(件、人) 下段/割合(%)



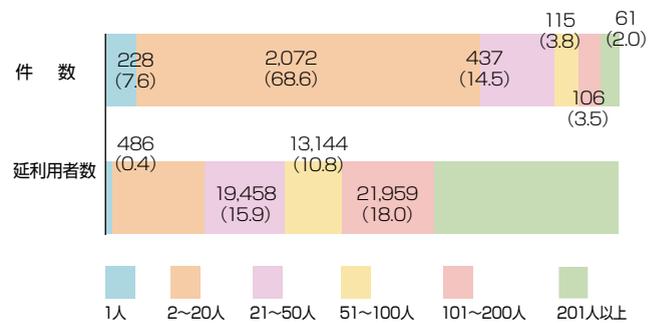
地域別

上段/実数(件、人) 下段/割合(%)



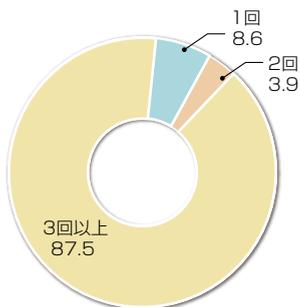
人数規模別

上段/実数(件、人) 下段/割合(%)



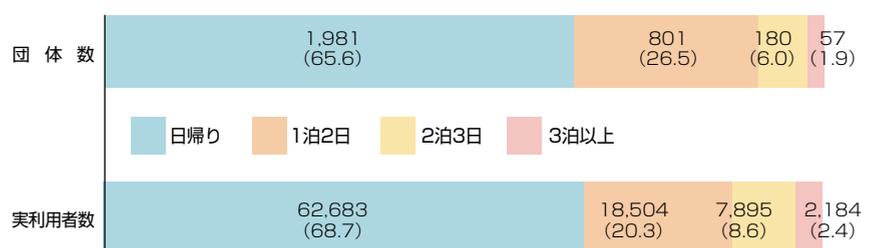
回数別

単位: (%)



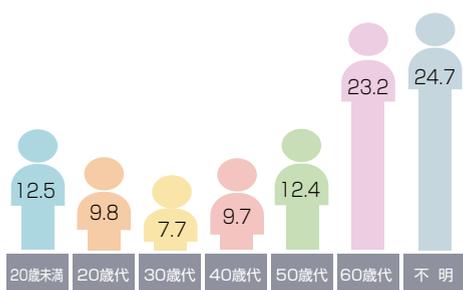
日数別

上段/実数(件、人) 下段/割合(%)



年齢別

単位: (%)



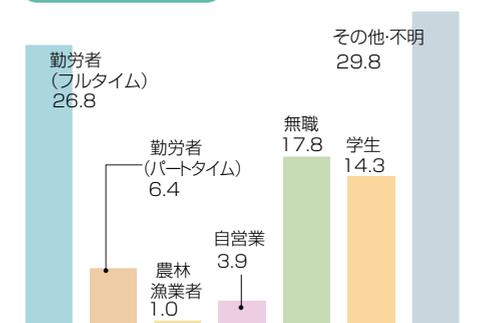
男女別

単位: (%)



職業別

単位: (%)



4月 「日本女性のミニコミデータベース」公開

4月19日、「日本女性のミニコミデータベース」を公開。女性教育情報センターは、草の根の女性たちの思いの表現であると同時に、活動や運動の発信として刊行されたミニコミ誌を多数所蔵している。

しかし、その刊行部数は少なく、また近年、発行者の高齢化やインターネットでの情報発信への変化により、休刊・廃刊となるものが増加し、貴重な資料の散逸、忘却が危惧されていた。

そこで、所蔵するミニコミ誌の中で、主に国連婦人の十年(1976～1985年)までに刊行が開始されたものから目録を整備し、公開の許諾が得られたものをデジタル化して提供することとした。



5月、10月、平成26年3月 「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」及び「ダイバーシティ推進リーダー会議」開催

平成24年度に開始した「企業を成長に導く女性活躍促進セミナー」(10月、平成26年3月開催)に加え、平成25年度は「ダイバーシティ推進リーダー会議」(5月)を新たに開催。

ともに、企業における人材活用やダイバーシティ担当者が対象。女性の発想や企画力が企業の成長とブランド価値の向上に大きく貢献すること、女性が働きやすい職場環境を整えることが男性のさらなる能力発揮をも促すことなどについて、企業トップによる講演、豊富な事例報告、統計データを用いた現状分析、アクション・ラーニングの手法を用いた問題意識の共有などのプログラムを通じて理解を深める内容とした。

講師として、らでいっしゅぼーや株式会社、株式会社ニチレイ、日本生命保険相互会社、帝人株式会社、日産自動車株式会社の役員・ダイバーシティ推進室長が登壇した。



8月～12月 女性アーカイブセンター企画展示「音楽と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」開催

8月1日～12月15日の期間、女性アーカイブ展示室にて、女性アーカイブセンター企画展示「音楽と歩む～チャレンジした女性たちからチャレンジする女性たちへ～」を開催。

企画展示は、さまざまな分野においてチャレンジした女性たちの歩みから日本の男女共同参画社会を考えるシリーズ企画として実施しているもので、6回目の今回は初めて芸術分野に着目し、音楽と女性との関わりについて取り上げた。クラシック・現代音楽分野において多彩に活躍した女性たち、活躍している女性たちの写真・自筆譜・コンサート映像等の多彩な資料を通じて、彼女たちが築いたキャリアの足跡を紹介した。連携企画として、音楽に関係する分野で活躍中の女性(ピアニスト、研究者、作曲家)によるレクチャー・コンサートを計3回実施した。



各種事業の状況については、ホームページをご覧ください。
<http://www.nwec.jp/> パソコン版のみ



8月 「男女共同参画推進フォーラム」開催

8月に3日間にわたり、「男女共同参画推進フォーラム」を開催。男女共同参画に関心のある方が会館に一堂に会し、課題の共有と課題解決のための方策を探るもの。全国から1,000名を超える参加を得て、「女性の活躍推進と社会の活性化」をテーマに、基調講演、パネルディスカッションをはじめ、館内の研修施設を使い50を超える募集ワークショップとポスター展示が開かれ、「女性のキャリア形成支援」「安全・安心と男女共同参画」「男女共同参画の地域づくり」など幅広いテーマに関する学習の場を提供した。

新たなプログラムとして、市長、企業トップ、NPO法人のトップ、大学長となった女性4名を迎え、各分野の取り組みと横断的な課題について議論する「女性リーダー会議」を開催した。組織に参加する女性は増えたものの、組織のトップとなる女性を増やしていくことが今後の課題であることが共通の課題として認識された。



9月～10月 「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」及び「NWEC国際シンポジウム」開催

9月26日～10月5日、5カ国9名の研修生が参加し「アジア太平洋地域における男女共同参画推進官・リーダーセミナー」を開催。

研修生は、内閣府や文部科学省を訪問し、日本政府の男女平等施策についての理解を深めた。また、京都大学を訪問し、ジェンダー論の授業を通して明らかになった日本の高学歴男子学生の性意識について学び、職員と意見交換を行った。

10月5日には「男性にとつての男女共同参画」をテーマとした「NWEC国際シンポジウム」を開催した。

第一部は、オーストラリア ポットインガー(株)共同代表取締役社長 カサンドラ・ケリー氏及び京都大学大学院文学研究科教授 伊藤公雄氏の基調講演。第二部のパネルディスカッションでは、ラヴィ・K.ベルマ氏(インド・国際女性問題研究センターアジアオフィス地域統括ディレクター)、佐崎淳子氏(国連人口基金(UNFPA)東京事務所長)、松下光恵氏(静岡市女性会館館長)が加わり、「ジェンダー関連事業への男性の参画を促進するためのベストプラクティス」が報告された。



12月 「女子大生キャリア形成セミナー」開催

12月に1泊2日で、女子学生を対象とした「女子大生キャリア形成セミナー」を開催。このプログラムはNWECがこれまでに蓄積してきた「キャリア形成に関する学習プログラム開発」の研究成果を基盤に開発したもので、①仕事を持ち自らの人生の選択権を持つことが豊かな人生設計に際し重要であること、②女性のライフイベントを知っておくこと、③キャリアの構築が単に個人の自己実現に留まらず社会を変えていくこと、の3つの視点から構成されている。

1日目は、女性のキャリア形成に関する講演や講義、民間企業の幹部などで構成される女性グループ「リーダーシップ111」のメンバーによるパネルディスカッション等。

2日目は、グループワークを通じたキャリアシートの作成を行った。



施設

秩父連山を遠くに望む都幾川に沿った自然豊かな丘陵地にある施設は10ヘクタールの敷地内にある。

自然との調和を配慮し、「陽に向かい陽に帰る」のコンセプトに合わせ、東側に研修棟、西側に宿泊棟、中央に池を配置している。

女性・男性を問わず、だれでも利用できます。

男女共同参画又は女性・家庭・家族に関する学習をする場合には、一般の利用者と比べ、安い料金で利用できます。



自然豊かな学習の拠点で
利用する・参加する・調べる・学ぶ・読む。

ご利用 申込受付



本館・フロント



- ▶ 駐車場 ■普通車170台、大型車(バス)20台
- ▶ 売店 ■営業時間:8:30~21:30

宿泊研修 施設



ラウンジ



和室



洋室



談話室(B棟1~4F, C棟1~3F)

- 利用定員 約20人
- 利用時間 15:00~24:00
- 施設使用料 無料



ミーティングルーム(A棟2F)

- 利用定員 約50人
- 利用時間 9:00~24:00
- 施設使用料 300円~1,330円
(21時以降は追加料金がかかる)

(平成26年4月より)

種別	内容	A棟 (バス・トイレ付)	B棟 (トイレ付)	C棟 (トイレ付)	室数	施設使用料(1人当たり)
洋室	1人用	38室	—	—	136室	2,670円~4,110円
	2人用	98室	58室	12室		2,260円~3,900円
和室	2人用	2室	—	—	26室	2,460円~3,900円
	4~5人用	24室	—	10室		2,260円~3,700円
宿泊室合計		98室	42室	22室	162室	—

各施設の利用時間、料金・備品等 詳細については会館ホームページ、<http://www.nwec.jp/>をご覧ください。



実技 研修棟

音楽、調理、陶芸などさまざまな実技研修に利用できる

音楽室

- 利用定員 約50人
- 施設使用料 510円～1,640円



調理室

- 利用定員 約30人
- 施設使用料 510円～1,740円



美術・工芸室

- 利用定員 約30人
- 施設使用料 410円～1,540円

食堂



試食室

- 利用定員 約30人
- 施設使用料 300円～1,020円



幼児室

- 利用定員 約20名

女性教育情報センターは、男女共同参画及び女性・家庭・家族に関する専門図書館

図書館/ 史・資料展示



- 座席数 22席
- 開室時間 9:00～17:00



展示室 (本館 1F)

- 開室時間 9:00～19:00



女性アーカイブセンターは、男女共同参画や女性教育に関する史・資料を収集・展示している



閲覧室 (本館 3F)

- 座席数 6席
- 開室時間: 9:00～17:00

各分野の男女共同参画を推進するリーダーの資質向上を目的とする研修及びネットワークづくりに活用されている。



研修棟

講堂 ■利用定員 602人
■施設使用料 4,830円～17,480円



大会議室
■利用定員 160人(傍聴席38を含む)
■施設使用料 1,640円～5,340円



中会議室
■利用定員 40人
■施設使用料 510円～1,950円



小会議室
■利用定員 12人
■施設使用料 300円～1,230円

研修室	室数	施設使用料(円)
150人室	1	1,130円～3,390円
99人室	1	820円～2,570円
48人室	4	410円～1,440円
36人室	1	410円～1,330円
24人室	2	300円～820円
20人室	6	300円～820円

■利用時間 午前 9:00～12:00
午後 13:00～17:00
夜間 18:00～21:00

研修室 1～3F



マルチメディア研修室
■利用定員 30人
■施設使用料 820円～1,850円
(夜間は利用できない)

日本家屋施設



テニスコート
■全天候型スパックサンドコート
■施設使用料 1,740円～2,260円

体育施設



体育館 【バレーボール2面、バドミントン3面、フットサル1面】
■施設使用料 3,600円～11,620円



日本家屋「響書院」
茶道、華道、着付け、かるた、百人一首、作法教室など日本の伝統・芸術・文化に関する学習や交流に利用できる
【茶室2部屋(15畳、4.5畳)／座敷1部屋(10畳)】
■施設使用料 1,230円～4,110円

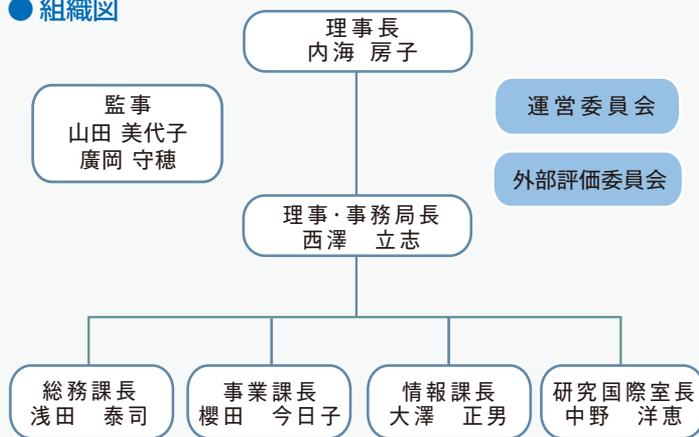


茶室「和庵」
京都裏千家家元の今日庵の「又隠(ゆういん)」を模した本格的な茶室【茶室(4.5畳)】
響書院とセットでの貸出

■利用時間 午前 9:00～12:00 午後 13:00～17:00 夜間 18:00～21:00

組織図、歴代館長・理事長、運営委員会委員、外部評価委員会委員、決算

● 組織図



● 運営委員会委員 平成26年6月1日現在

氏名	現職
渥美 由喜	厚生労働省政策評価に関する有識者会議 委員 (東レ経営研究所 研究部長)
伊藤 公雄	京都大学大学院 文学研究科 教授
岩熊 眞起	特定非営利活動法人女性技術士の会 顧問
大竹 美登利	東京学芸大学 教育学部 教授
小山内世喜子	アピオあおもり青森県男女共同参画センター 副館長/ 特定非営利活動法人全国女性会館協議会 常任理事
柿沼 トミ子	全国地域婦人団体連絡協議会 会長
久留島 典子	東京大学 史料編纂所 所長
佐藤 和人	日本女子大学 学長・理事長
白井 文	グンゼ株式会社 取締役
高松 和子	公益財団法人21世紀職業財団 理事・事務局長
月野 美帆子	株式会社読売新聞東京本社 人事部
根岸 茂文	一般社団法人埼玉県経営者協会 専務理事・事務局長
羽入 佐和子	お茶の水女子大学 学長
平野 正美	埼玉県立浦和第一女子高等学校 校長
福田 公子	首都大学東京大学院 理工学研究科生命科学専攻 准教授
三宅 瑞絵	埼玉県男女共同参画推進センター 所長
山口 みつ子	国際婦人年連絡会 世話人/ 公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター 理事
山田 昌弘	中央大学 文学部 教授

● 外部評価委員会委員 平成26年6月1日現在

氏名	現職
天野 正子	東京家政学院大学 学長
犬塚 協太	静岡県立大学 国際関係学部国際関係学科 教授/ 静岡県立大学 男女共同参画社会推進センター長
斎藤 悦子	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 准教授
笹井 宏益	国立教育政策研究所 生涯学習政策研究部長
夏目 智子	全国地域婦人団体連絡協議会 事務局長
萩原 貴子	ソニー光株式会社 代表取締役社長

● 歴代館長/理事長

在任期間	職名	氏名
昭和52年7月1日 ~ 昭和57年7月9日	館長	縫田 暉子
昭和57年7月10日 ~ 昭和62年3月31日	館長	志熊 敦子
昭和62年4月1日 ~ 平成7年3月17日	館長	前田 瑞枝
平成7年4月1日 ~ 平成13年3月31日	館長	大野 曜
平成13年4月1日 ~ 平成16年3月31日	理事長	大野 曜
平成16年4月1日 ~ 平成23年6月30日	理事長	神田 道子
平成23年7月1日 ~ 現	在 理事長	内海 房子



● 決算

(平成24年度、単位:百万円)

収入		支出	
運営交付金	530	業務経費	368
入場料等収入	99	一般管理費	243
その他	6	その他	5
合計	635	合計	616

国立女性教育会館ボランティア

ボランティア自身の多様な生涯学習を促進するとともに、利用者への質の高いサービスの提供と他機関・団体等との連携協力のための活動として、ボランティアを受け入れている。



■ボランティアと会館の連携

ボランティアを事業運営における大切なパートナーとして位置づけ、ボランティア活動の推進に向けさまざまな機会を提供している。

① 情報提供及び交流	連絡会議(年3回)を実施するとともに、会館内にボランティアルームを設置し、会館とボランティア、またボランティア相互の連絡・交流を図っている。
② 研修活動	ボランティアと会館がともに学ぶための研修事業として「ボランティア活動研究会」(年1回)を実施している。 また、全国から多数の参加者が集う「男女共同参画推進フォーラム」をボランティア活動に必要な基礎的な研修として位置づけている。
③ 自主活動	ボランティア相互の自主的なグループの活動・提案を受け入れ、会館はそれをバックアップしている。

交通のご案内

